

2019年放課後等デイサービススマイルキッズ自己評価表 職員向け集計結果

職員数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			・一日の利用定員が多いときは、室内、室外での活動を行っている
	②	職員の配置数は適切であるか	6			・利用者の状況によっては一對一の支援が必要な場合もあるが、おおむね適切である
業務 改善	③	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・業務改善について話をしている
	④	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・アンケートを実施し、いただいたご意見をもとに、今後業務改善に努めていく。
	⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・ホームページに掲載する予定である。
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		2	・現在第三者による外部評価は行っていないため、今後は外部評価を行い、業務改善に努めていく。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・研修の案内を行ったりして参加を促している。また、社内研修を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・保護者のニーズを分析したり、相談支援員との連携を図っている
	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・職員間での情報共有や連携について日々努めている。ワークや個別のお勉強は支援員で話し合いをしている。
	⑩	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・ワークは連続して同じものをせずに、違うものにしたたり、一人ひとりの特性を考慮し準備を行っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1		・利用児童の事業所での滞在時間を考慮したり、長期休暇にしか行えないものは、その間にできるように配慮している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・一人ひとりの状態に応じて、個別活動や、無理のない範囲での集団活動を計画している。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		・午前中にその日の予定を確認し役割分担するようにしている。また気になることがあれば、その点を共有し注意し支援していくようにしている。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	1		・午前中にミーティングの時間をもったり、気になっていることについて情報を共有している
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・その日の活動状況を連絡帳や、日中活動日誌に記載し、情報共有を行っている。
	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			関係機関と連携しながら、計行っている。
	⑰	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		基本活動の組み合わせを変えながら支援を行っているが、子供の状況により複数の活動が行えていないこともある。

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			サービス担当者会議前には、事前に他職員からも情報提供をうけ、参加している。
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		1	・送迎時に学校の担当者から、その日の学校での様子や、事業所での活動の様子を伝えたり、できる範囲で行っている。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	・今後必要に応じて情報共有をできるように努める
	㉒	学校を卒業し、放課後等弟子サービス事業所から生涯福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか	4	2		・関係機関と連携を取り合い行っている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	・療育センターの研修等に参加し、専門知識の向上に努めている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		・公園遊びや児童館などを医療するときと一緒に遊ぶ機会があるときには、遊べるようにうながしている。年一回保育所に行き交流を図っている
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	・時間が合わず、積極的に参加できていない。今後参加できるように努める。
保護者との連携	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時に、一日の様子や、気になることがある時にはその時に伝え情報の共有をおこなっている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	5	・気が付いたことは伝えているが、現在ペアレントトレーニングは行えていない。今後研修に参加し、行えるように努める。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に説明を行い、質問がある時には随時説明を行っている。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		相談がある時には、随時対応するようにしている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・年に一度家族交流会を開催し、保護者同士での交流の機会を設けている。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・現在のところ、苦情をいただいたことはないが、苦情があった場合には速やかに対応できるようにしている。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・月に一回スマイルキッズ通信を作成し、子供たちの活動写真や翌月の行事予定、事業所休業日の案内をしている。
保護者への説明責任等	㉝	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報は鍵付きのラックに保管し、取り扱いには十分注意している。
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・一人一人に合わせて絵カードを使用したり、短い言葉や分かりやすい表現で、意思疎通ができるように努めている。
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	・現在おこなっておらず、今後検討していく。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	1	・マニュアル作成しているが、保護者への周知は行えていないため、今後周知できるように努める
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・職員のみでの訓練に加え、利用者参加での避難訓練を行っている。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待の研修に参加し、伝達講習を行うようにしている
	非常	㊴				

時 等 の 対 応	③⑨	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	2	・どのような場合に身体拘束が必要かについては把握しているが、現在対象者となる利用者がいない。
	④⑩	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		・医師の指示書がないため、保護者から聞いたアレルギー対応を行っている。また、おやつの準備のところにも張り紙をして、注意喚起をしている
	④⑪	ヒヤリハット事例集を作成して事業所で共有しているか	2	2	2	・事故報告書の作成はされているが、ヒヤリハット事例集の作成は不十分なため、今後内容を充実させていく。